

教育と環境の

さわやか  
「爽」企画室

会報 第67号

2012.7

発行/教育と環境の「<sup>さわやか</sup>爽」企画室・代表 片桐 和子  
住所:新潟市西区五十嵐東2-11-25  
電話:025-260-0568 / FAX:025-260-0568  
E-mail: [sawa@topaz.plala.or.jp](mailto:sawa@topaz.plala.or.jp)  
URL:<http://www14.plala.or.jp/sawayaka-kikaku/>



微笑みと優雅なサリー姿で魅了し、民間親善外交に努められたルースさんとアーシャさん（県庁表敬）

去る6月10日から20日まで来日した、インドNGOニューホープ役員のルースさんとアーシャさんは、草の根の民間親善友好訪問の重責を、見事なまでに果たし、「日本は、第二の祖国となりました。」の言葉を残し、インドに帰国されました。

新しい学校のカリキュラムや学校運営を学びに来日した、学校のディレクターとして関わるアーシャさんには、日本の学校の様子を見学し、新しい学校に夢と希望を託す子どもたちのために、しっかりと学校運営がなされることを期待したいと思います。

また、とりわけ障害を持つ子どもたちの教育をライフワークとされるルースさんは、この度の来日に多くの期待をかけていました。この見聞をステップに、「子どもの憩いの村」の運営を、より一層強固なものにしていくことでしょうか。私どもも協力を惜しみません。

お二人の初来日となる、この10日間は、いずれにしても、今後の「子どもの憩いの村」の運営に、多くの示唆と方向付けをもたらしたことでしょうか。子どもたちのために、よりよい環境と学校運営を目指し、労苦を厭わず、頑張ってくださいと切に願います。

常に優しさの匂い立つような笑顔のルースさんは、「子どもの憩いの村」の子どもたちに今後何をすればいいのか、日本の子どもの様子をじっと観察しておいででした。アーシャさんは、重いノートパソコンを携帯し、その日の気づきを夜中までノートに打ち込んでおられました。貪欲なまでに知識欲旺盛で、カメラ片手の現代っ子らしいレディーでした。

インド「子どもの憩いの村」ルース夫人、アーシャさん行程表  
2012年6月10日（日）～6月20日（水）

教育と環境の「爽」企画室（責任者：代表 片桐 和子）

月 日	行 程 内 容	宿 泊
6月10日（日）	CA 948 デリー（3：15 発）～CA 167 北京（13：25 発） ～NARITA ターミナル1（18：00 着）（出迎え：片桐 和子）	マロウドインターナ ショナルホテル成田
6月11日（月）	ホテル出発 9：30 JICA/JOCV 表敬 13：30～14：30 インド大使館表敬訪問 （土居則子東京家政大名誉教授、片桐和子同行）	東京家政大学 緑窓会館
6月12日（火）	東京家政大学附属幼稚園見学 9：00～（ 授業、施設巡察、附属給食施設見学・昼食 11：30 表敬訪問 理事長・学長・岩井理事 16：00～ （土居則子東京家政大名誉教授、片桐和子同行）	東京家政大学 緑窓会館
6月13日（水）	新潟県長岡市 11：30～13：00（片桐夫婦同行） 長岡市長他表敬訪問（米百俵賞受賞1周年のお礼） （付添：羽賀友信 長岡市国際交流センター長） 弥彦神社・弥彦山周辺見学 15：00～（片桐夫婦同行）	新潟会館
6月14日（木）	新潟県・市表敬 10：30～16：00（片桐夫婦同行） 新潟市長（11：30） 新潟県知事（14：00）・県国際交流協会（15：30） 新潟総合警備保障（株）社長（16：30） 片桐家訪問（プライベート会談・夕食）17：30～	新潟会館
6月15日（金）	学校レクチャー（片桐夫婦同行） ・新潟市立巻南小学校 9：00～13：30 ・新潟県立大学 14：30～16：30	新潟会館
6月16日（土）	新潟市国際交流協会（13：00） ・講演&座談会 14：30～16：00（一般公開） クロスパルにいがた 405 号室 ・ウエルカム&ファイナル・ディナー（新潟会館） （今までの関係者） 17：00～19：00	新潟会館
6月17日（日）	新幹線で東京へ（片桐和子同行） （特活）草の根援助運動（P2）へ引き継ぎ 15：00	コンフォート横浜 関内
6月20日（水）	帰国 NARITA ターミナル1 CA 926（15：15 発）～北京～ デリー（21日1：40 着）（見送り：特活 P2、片桐和子）	

サリー姿のルースさん、アーシャさん来日！笑顔で親善外交（6. 10日～11日）



6月10日20:00、到着ロビーでようやく一息



成田空港近くのホテルで遅い夕食



11日午前、時間の合間に、浅草の観音様に参拝



お線香の煙を浴びて、旅の安全祈願



11日午後、インド大使館の正門にて



インド式のおもてなしに感激のお二人



JICAアジア・太平洋州課の担当者と対談



11日夕食は、東京・田事で本格日本料理の初体験

東京家政大学の附属幼稚園訪問、中学校授業参観、給食施設・設備見学、給食試食 (6.12日)



副園長先生を真ん中に、園のポーチでパチリ！



附属幼稚園・園児の伸び伸びと遊び、学ぶ様子



コンピューターを駆使する中学・家庭科の学習



附属中学・高校の調理室の見える広い食堂



清潔な調理実習室で説明を受ける二人



学園のシステムを熱心に問うアーシャさん



清水理事長の温顔は、学園の校風そのものでした。



広いキャンパスは、紫陽花が美しく咲き競って…

長岡市長、新潟市長、新潟県副知事、N I A表敬訪問。弥彦神社と弥彦山 (6. 13~14 日)



2011 年度米百俵賞受賞のお礼と経過報告



議会の昼食休憩時を割いて、面会された森市長



鬱蒼とした杉木立に囲まれた越後一宮・弥彦



弥彦山の頂上は、日本海と新潟平野を眼下に



篠田新潟市長は、相変わらずダンディーでした



インドのおみやげは、勿論、子持ち象の彫り物



新潟県森副知事は、インド事情に興味深く



信濃川河口の瀟洒なときメッセにお二人は感嘆!

新潟市立巻南小学校授業、新潟県立大学セミナー（6. 15日）



巻南小4年生、インドについて興味津々



お話は日本の子どもたちに分かり易く噛み砕いて



各自、バンダナやエプロンで給食の支度をする子ども



校長先生は女性で、アーシャさんとも気軽に



午後は、新潟県立大学で、通訳なしの英語で講義



堂々とスピーチされるルースさんに熱心な質問が



インドの教育制度について述べるアーシャさん



国際地域学部長教授、学生の桃子さんと記念撮影

新潟訪問の最終章は、「爽」記念講演会とウエルカム・ディナー (6.16~17日)



30人ほどが熱心にインドの教育事情を視聴



講演会の後、残った方々が講師と一緒に記念撮影



ルース夫人を慕って、20人が集まりました



義理堅く、弘前から駆けつけられた今 充先生



サクソの演奏で、会場はしんみりと…



インドでまた会いましょう、シーユアゲイン!



◇ 終始、温かな笑顔で人々を包み込んだルースさんとチャーミングなサリー姿のアーシャさんでした。

## 団体設立 15 周年・インド支援 10 周年記念誌 「子どもたちに輝く未来を！教育に光を！」

当団体は、1997年より国際協力活動を開始してから、15年が経過しました。インド東部のビシャカパトナム市郊外の広大な原野を切り拓き、路上生活をしている子どもたちを保護し、自立させるための施設「子どもの憩いの村」の建設・運営を始めたのは2003年1月からで、今年、10周年を迎えます。幾度かの挫折の危機を乗り越え、この春には、念願の州認可の初等教育学校（10年制）が開校の運びとなりました。さらに集大成ともなる400メートルトラックを有するスポーツ・グラウンドの敷地も購入しました。3月には現地で、盛大な開校式とグラウンドの地鎮祭を挙げてまいりました。

これらを記念し、記念誌「子どもたちに輝く未来を！教育に光を！」を、このほど発行いたしました。私どもの活動をたどる冊子としては、2007年にインド支援5年の足跡をまとめたものがあり、今回は2度目の記念誌となります。私ども夫婦は、すでに75歳を過ぎ、人生も残り少なくなりましたが、この大グラウンドを完成させて、オリンピック選手を輩出させるために、さらに加速して、支援を全うしたいものと望んでおります。今後とも、皆様のご支援と激励をいただけたらと願っております。

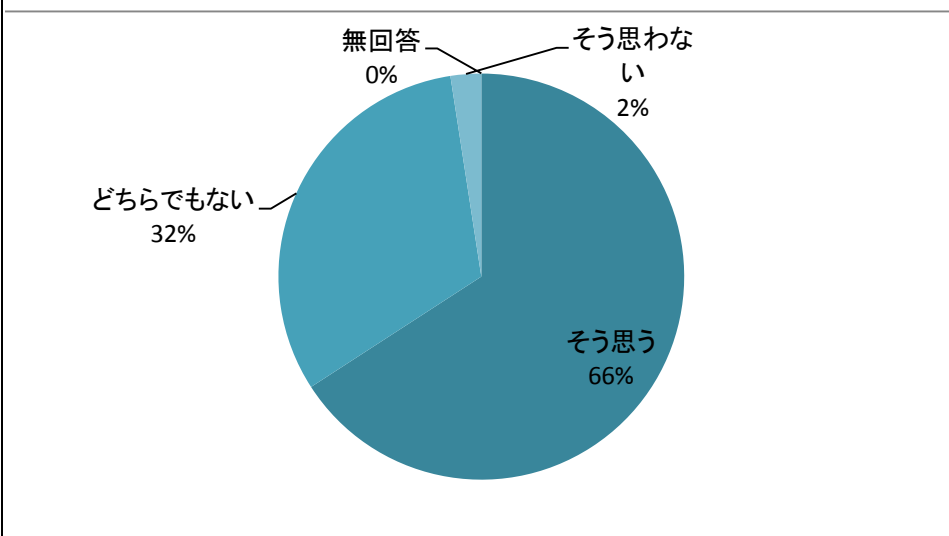


6月16日には、私どものカウンターパートのインドNGO・NEW HOPEの「子どもの憩いの村」責任者のルースさん、学校のディレクターのアーシャさんが来日され、新潟市の「クロスパルにいがた」で記念講演会を開催いたしました。また、6月21日から7月20日まで、同じく「クロスパルにいがた」2Fで、「インド・子どもの憩いの村の子どもたち」をテーマにした、写真・絵画展を開催いたしました。目白押しの活動でしたが、充実した2012年度上半期を終えることが出来ました。詳細は当団体ホームページをご覧ください。



質問3 このイベントは全体的に満足できるものでしたか？あてはまる回答一つに○をつけ、3を選択した場合はその理由を以下の空欄に記入して下さい。

そう思う	54
どちらでもない	26
そう思わない	2
無回答	0



内容の細かいところまでは知らずに参加したが、本来自分が興味を持っていた内容だったので活動実施者や現地人の話も聞けて良かった。

近年、成長を続けるインドの裏の顔がうかがえたので。  
インドで支援活動をする方から直接お話を聞くという貴重な体験ができて良かったから。

質問4 このイベントについての感想があれば以下の空欄に記入して下さい。

とっても貴重な機会を持てた。  
インドの話を知りたいにしても、インドの人から直接聞けるのは嬉しい。  
滅多に聞けない人達の話だったので、出て本当に良かったと思う。  
とっても貴重な機会を持てた。  
とても貴重なお話を聞くことができてとても良かった。  
バックパッカーをしてみたいと思っていて、いつかインドを訪れたいと思った。  
多くの興味深いお話が聞けた。  
インドの教育状況を知ることができて良かった。  
良いお話をありがとうございました。  
すぐためになる話だった。自分で動かなきゃならないと思った。  
アーシャさん達の話すスピードについていけませんでした。  
インドの子供達が良い環境で教育を受けていると知り嬉しく思った。  
とても有意義な時間を過ごせた。  
発展途上国の支援にさらに興味がわいた。私も小さなことから力になりたいと思いました。  
とても興味が湧きました。インドに行ってみたいです。  
もっと質問で出来ればよかった。  
普段、日本お生活が当たり前だと思っていたが、インドではそうではなく、日本と同じような設備にするためにはお金がかかたり、苦勞することも沢山あったと思うが見事に実現させた片桐さん夫婦はすごいと思った。  
とても興味深い内容でした。片桐さんは退職してからインドのボランティアを始めたのはすごいと思った。大変そうだけど、でもすごく充実している様子が少し羨ましかった。孤児からオリンピック選手を出したい！というのは応援したいと思った。  
今CORE ENGLISH でアフリカについて学んでいて、教育についてもふれたので、インドの教育についても知ることができて良かったです。

・よい時間を過ごせました。（新潟県立大学アンケート：質問1、2、5は、省略します。）

**★ 6月27日、インドからお礼のメールが届きましたのでご紹介いたします。**

片桐さんご夫妻へ

ルースとアーシャから、心をこめてご挨拶を申し上げます。  
私たちは、無事にインドに到着しました。フライトは大変快適で、道中も全く問題ありませんでした。デリー空港には午前2時に到着しましたので、午前9時発のビシャカパトナム行きの便の出発まで待ちました。

片桐ビレッジに到着した時、子どもたちは私たちを待っていました。そして、私たちの日本への旅に関するお話と、日本のお父さん、お母さんである片桐ご夫妻の日本での様子について、熱心に聞きたがっていました。子どもたちは大変喜んでいました。また、彼らはこのたび新しい学年に進級して新年度を迎えました。CD-ROMを準備して、私たちが訪れた全ての日本の学校、そして子どもたちについて、インドの子どもたちに紹介しようと思います。マンゴーの季節はもうすぐ終わりますが、子どもたちは、今月いっぱいマンゴーを楽しめそうです。

私たちは、日本で過ごした素晴らしい時間と、私たちのために快適な宿泊施設を選んでくださいましたことに、深く感謝致します。これだけたくさんの時間を、日本のお母さん、お父さんと共に過ごしたことで、家族として更に関係が近づき、より親密になれましたことを嬉しく思います。まゆこさんに作って頂いたインド料理は、本当に美味しかったです！ようたくん、まゆこさん、今度は是非インドにいらしてください。

今回の旅で、私たちは多くのことを学びました。学校や大学などを訪問し、爽企画室を支援される人たちとの全ての出会いを、大変嬉しく思いました。

現在、私たちには、学校をより良くし、新しいシステムの導入により運営をよりスムーズにし、子どもたちをより幸せにするための、沢山の計画とアイデアがあります。子どもたちに最高のケアと教育を与えるため、一生懸命努力します。これからも、片桐ビレッジと片桐スクールにおける、仕事と進展に関する最新情報をお伝えしていきます。

日本のお父さんである昭吾さん、ようたくん、まゆこさんにも、私たちからのご挨拶をお伝えください。

愛をこめて ♡

アーシャ  
ルース

(訳: 英語コーディネーター 窪田 伸哉)